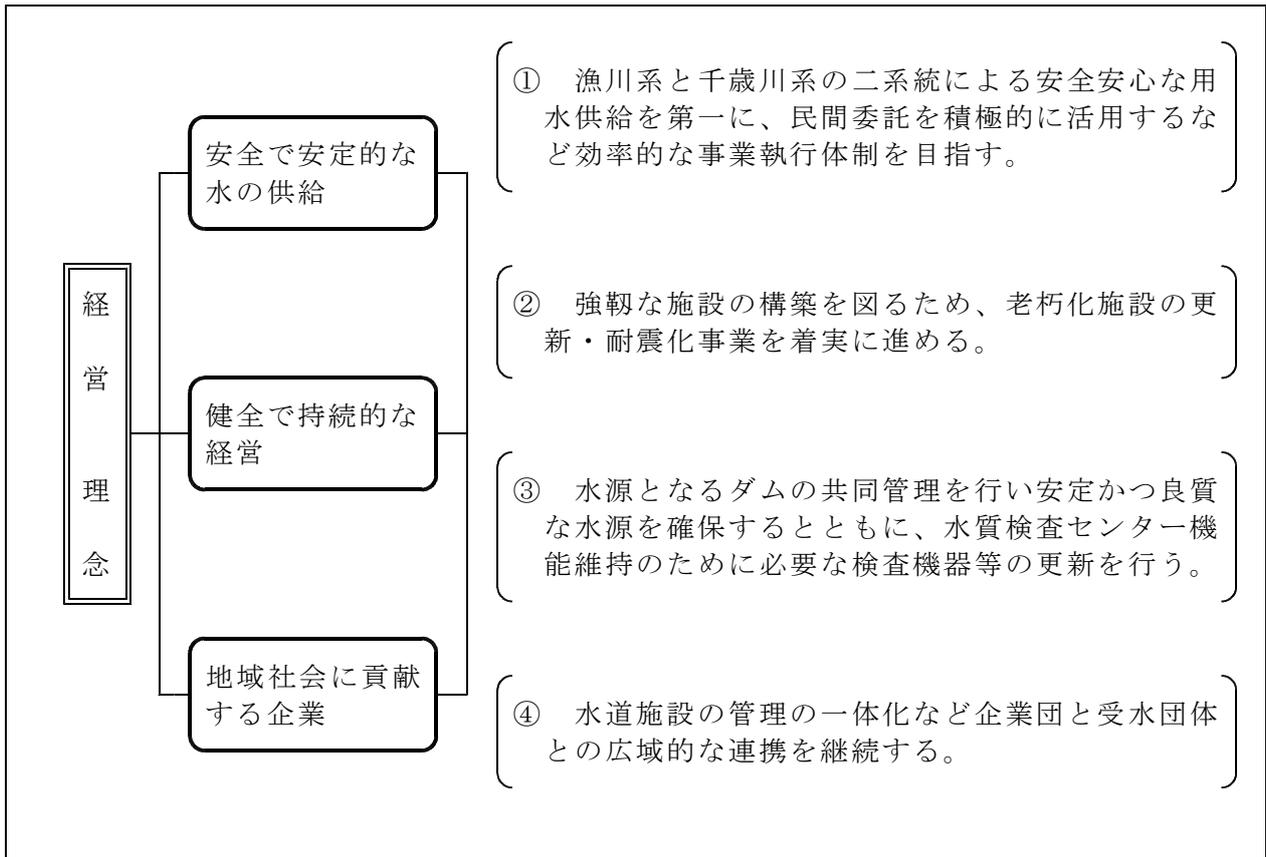


# 石狩東部広域水道企業団 平成30年度予算の概要

## 1 基本的な考え方

- ① 漁川系と千歳川系の二系統による安全・安心な水道用水の供給を第一として、民間委託や水道施設の一体管理などに継続的に取り組む。
- ② 強靱な水道施設の構築を目指し、老朽化施設の更新や耐震化を着実に進める。



## 2 事業予定量

- (1) 平成30年度は4市1町1企業団に対し、2,318万3,863 m<sup>3</sup>の供給を予定。  
(前年度比0.03%増)

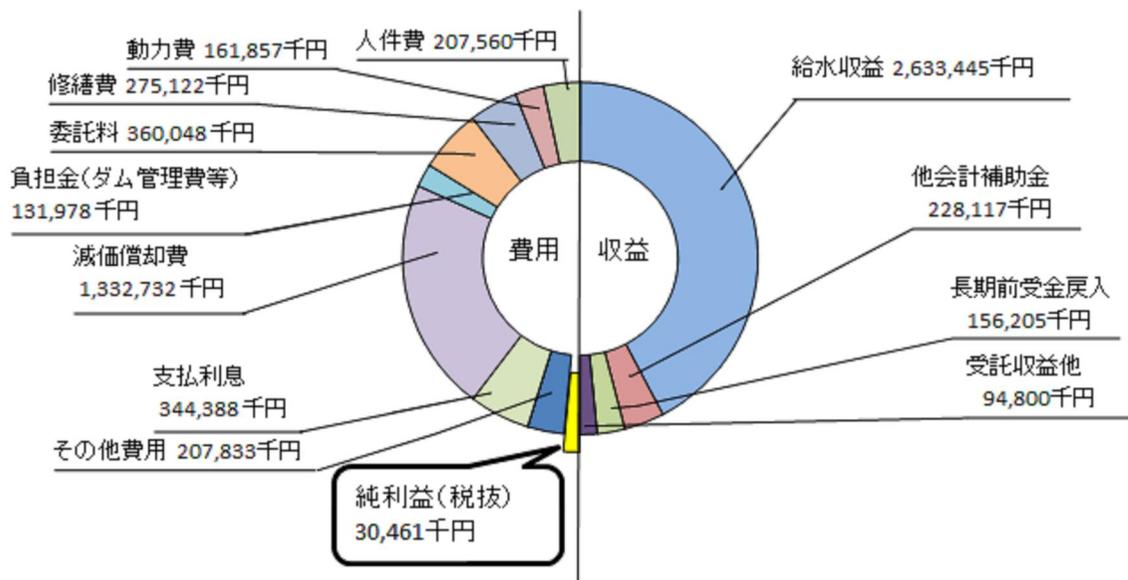
(単位：m<sup>3</sup>)

供給先		平成30年度	平成29年度	増減
団体別	江別市	7,336,500	7,336,500	0
	千歳市	2,555,000	2,555,000	0
	恵庭市	6,663,000	6,658,000	5,000
	北広島市	5,525,733	5,512,231	13,502
	由仁町	800,200	827,700	△ 27,500
	長幌上水道企業団	303,430	285,850	17,580
系統別	漁川系	20,631,548	20,613,046	18,502
	千歳川系	2,552,315	2,562,235	△ 9,920
年間用水供給量		<b>23,183,863</b>	23,175,281	8,582
一日平均用水供給量		<b>63,517</b>	63,493	24

### 3 財政収支

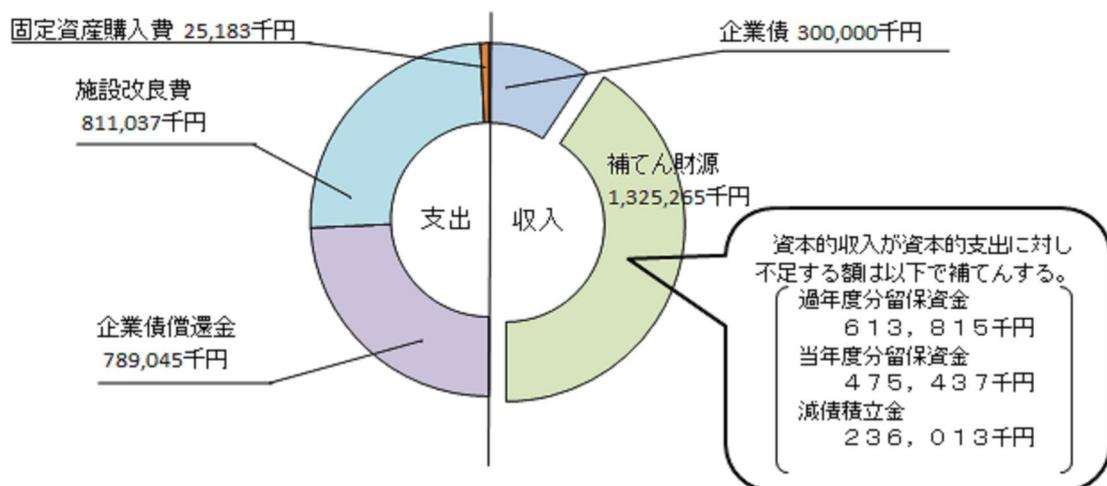
#### (1) 収益の収支

用水供給事業収益	31億1,256万7千円	(対前年度 △2億4,285万1千円)
用水供給事業費用	30億2,151万8千円	(対前年度 △9,746万6千円)
純利益(税抜)	3,046万1千円	(対前年度 △1億3,757万4千円)



#### (2) 資本的収支

資本的収入	3億円	(対前年度 △1億円)
資本的支出	16億2,526万5千円	(対前年度 △1億900万3千円)
不足額	△13億2,526万5千円	(対前年度 △900万3千円)



#### 4 主な事業

##### (1) 水道施設の耐震化

6億6,711万6千円

漁川系施設のうち老朽化した送水管等の耐震化を進める工事を実施する。

- ① 北広島市（中の沢）送水管布設替工事その2
- ② 漁川水管橋耐震補強等工事

##### (2) 老朽化対策

2億7,523万9千円

安定的かつ効率的な施設運転や水処理を行うため、老朽化した水道施設の更新、修繕等を進める。

- ① 2号導水ポンプ機械・電気設備更新工事
- ② 漁川浄水場次亜塩注入設備・計装設備更新工事その2
- ③ 千歳分水点1設備更新工事
- ④ 送水管仕切弁室等補修工事

##### (3) 民間委託及び広域連携の推進

3億2,772万9千円

施設の運転・維持管理に民間委託等を活用し効率的な事業運営を進めるほか、受水団体の水道施設を企業団が一体的に管理するなど、広域的な連携を継続する。

- ① 漁川浄水場等水道施設運転・維持管理業務委託（平成27～31年度）
- ② 受水団体の配水池等の一体的管理  
（恵庭市、由仁町、長幌上水道企業団）
- ③ 恵庭市柏木配水池防水補修工事の受託

##### (4) 水源管理及び水質管理

9,809万5千円

ダム等水道水源の維持管理に取り組むとともに、水質検査機器の適切な更新を行う。

- ① 維持管理負担金（漁川ダム、夕張シューパロダム等）
- ② 水質検査機器（固相抽出装置等）の更新

## 5 その他

- (1) 平成30年度に予定している施設改良事業のうち、老朽管更新事業に充当する目的で起債（限度額3億円）を行う。
- (2) 期中における資金繰りを考慮し、一時借入金の限度額（2億1,000万円）を設定する。
- (3) 項間流用が可能な項目を営業費用と営業外費用とする。
- (4) 議会の議決を経なければ流用することのできない経費については、「職員給与費2億756万円」及び「交際費 26万円」とする。
- (5) 千歳川系会計の減価償却費充当及び企業債利息支払いのため、構成団体から2億2,811万7千円の補助を受ける。
- (6) たな卸資産の購入限度額は、1,713万1千円と定める。